

笑顔 いっぱい

西町公民館便り

令和5年

1月号

三九郎に向けて

12月18日(日)、西町公園に子ども会の子ども、保護者、町会役員15名ほどが集まり、1月14日(土)に行う三九郎の薪集めを行いました。公園の樹木を剪定した枝、町会副会長・防犯防災部長村田さんのお宅から提供された松葉・枝を集めました。あっという間に終了しました。

当日は、この日に集めた薪を元に正月飾りやだるま、書き初めなどが加わり西町・堂町の「三九郎」が組まれます。他町会と比べて質素ですが、無病息災を願う強い「思い」は負けません。令和4年は、ロシアによるウクライナへの侵略戦争、コロナ感染拡大、物価高等々気が滅入る事が多い年でした。令和5年も憂鬱で厳しい状況が続くかもしれませんが、その中でも人と人のつながりを温かくして、笑顔があふれるようにすることもできるはず。 「幸せな1年でありますように!」素朴な願いです。

「三九郎」という呼び名の由来は、道祖神の祭りをする神主福岡三九郎大夫の名をとったものだとか、諸説あるようですがはっきりしたことは不明です。」(インターネットから)



「三九郎」という呼び名は、中信地方だけのようです。県内の他の地域では『どんど焼き』などと呼ばれています。」



お疲れ様でした。

文責 公民館長 桐原 憲治